

## 御嶽山山行報告

【山行日】2024年 8月 3日(土) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 3:00

【費 用】マイカー1台 : 7,000円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL:廣瀬ナ、  
石澤、鈴木ミ、福島

【コースタイム】岩舟支所 P3:00=田ノ原登山口

P7:10/7:25~八合目避難小屋 8:50/9:00~

九合目石室9:40~王滝頂上 10:20/10:30~

剣ヶ峰 10:55/11:20~王滝頂上 11:35/12:10~

九合目石室 12:30~八合目避難小屋

12:50/13:00~田ノ原登山口 P13:40/14:00=岩舟支所 P18:25

御嶽山に登りたいというリクエストがあり、去年宿泊山行で計画したが台風により中止を余儀なくされた。宿泊山行では荒天時のキャンセル等面倒なので、今回は日帰り山行で計画した。御嶽山



は2014年9月の噴火以来登山規制されていたが、2018年から規制が緩和され一部の登山道が通行できるようになった。今年も期間限定で王滝頂上から八丁タルミを通して剣ヶ峰への登山道が解放され、田ノ原登山口から剣ヶ峰へ登れるようになった。当初8/4(日)に計画したが、天気予報があまり良くない予報の

為、天気が良い8/3(土)に変更し参加者の皆さんへ連絡した。1名都合が付かず不参加となったが、他の皆さんはOKとなり5名で岩舟支所を3:00に出発した。北関東道から上信越道、長野道を走り塩尻ICで降りて国道19号線を南下し田ノ原の駐車場に着く。駐車場はすでに多くの車が止まり、登山口から離れた場所に車を止める。駐車場から青空の中に雄大な御嶽山が見渡せ、皆さん大きく聳える山容に大感動。

出発の準備を整えたら登山口に移動し、立派なトイレを使用させてもらう。ストレッチを行なったら大鳥居の前で記念写真を撮るが、バックには雄大な御嶽山が聳え良い記念写真が撮れた。鳥居をくぐって広い登山道を緩やかに下り、大江権現が祀られた大江神社に寄り安全登山を祈願する。さらに少し進むと御嶽神社頂上奥社遥拝所があり、立ち寄って御本体の御嶽山を仰ぎ見て無事登頂を祈願する。しばらく広い登山道を進み、7合目で休憩し水分を補給する。この先から岩の登山道を登るようになり、7合目半からは傾斜がきつくなる。

1名都合が付かず不参加となったが、他の皆さんはOKとなり5名で岩舟支所を3:00に出発した。北関東道から上信越道、長野道を走り塩尻ICで降りて国道19号線を南下し田ノ原の駐車場に着く。駐車場はすでに多くの車が止まり、登山口から離れた場所に車を止める。駐車場から青空の中に雄大な御嶽山が見渡せ、皆さん大きく聳える山容に大感動。

出発の準備を整えたら登山口に移動し、立派なトイレを使用させてもらう。ストレッチを行なったら大鳥居の前で記念写真を撮るが、バックには雄大な御嶽山が聳え良い記念写真が撮れた。鳥居をくぐって広い登山道を緩やかに下り、大江権現が祀られた大江神社に寄り安全登山を祈願する。さらに少し進むと御嶽神社頂上奥社遥拝所があり、立ち寄って御本体の御嶽山を仰ぎ見て無事登頂を祈願する。しばらく広い登山道を進み、7合目で休憩し水分を補給する。この先から岩の登山道を登るようになり、7合目半からは傾斜がきつくなる。

鳥居をくぐって広い登山道を緩やかに下り、大江権現が祀られた大江神社に寄り安全登山を祈願する。さらに少し進むと御嶽神社頂上奥社遥拝所があり、立ち寄って御本体の御嶽山を仰ぎ見て無事登頂を祈願する。しばらく広い登山道を進み、7合目で休憩し水分を補給する。この先から岩の登山道を登るようになり、7合目半からは傾斜がきつくなる。

しばらく広い登山道を進み、7合目で休憩し水分を補給する。この先から岩の登山道を登るようになり、7合目半からは傾斜がきつくなる。



1名都合が付かず不参加となったが、他の皆さんはOKとなり5名で岩舟支所を3:00に出発した。北関東道から上信越道、長野道を走り塩尻ICで降りて国道19号線を南下し田ノ原の駐車場に着く。駐車場はすでに多くの車が止まり、登山口から離れた場所に車を止める。駐車場から青空の中に雄大な御嶽山が見渡せ、皆さん大きく聳える山容に大感動。

出発の準備を整えたら登山口に移動し、立派なトイレを使用させてもらう。ストレッチを行なったら大鳥居の前で記念写真を撮るが、バックには雄大な御嶽山が聳え良い記念写真が撮れた。鳥居をくぐって広い登山道を緩やかに下り、大江権現が祀られた大江神社に寄り安全登山を祈願する。さらに少し進むと御嶽神社頂上奥社遥拝所があり、立ち寄って御本体の御嶽山を仰ぎ見て無事登頂を祈願する。しばらく広い登山道を進み、7合目で休憩し水分を補給する。この先から岩の登山道を登るようになり、7合目半からは傾斜がきつくなる。

鳥居をくぐって広い登山道を緩やかに下り、大江権現が祀られた大江神社に寄り安全登山を祈願する。さらに少し進むと御嶽神社頂上奥社遥拝所があり、立ち寄って御本体の御嶽山を仰ぎ見て無事登頂を祈願する。しばらく広い登山道を進み、7合目で休憩し水分を補給する。この先から岩の登山道を登るようになり、7合目半からは傾斜がきつくなる。

しばらく広い登山道を進み、7合目で休憩し水分を補給する。この先から岩の登山道を登るようになり、7合目半からは傾斜がきつくなる。

この先から岩の登山道を登るようになり、7合目半からは傾斜がきつくなる。

しばらく広い登山道を進み、7合目で休憩し水分を補給する。この先から岩の登山道を登るようになり、7合目半からは傾斜がきつくなる。

この先から岩の登山道を登るようになり、7合目半からは傾斜がきつくなる。

しばらく広い登山道を進み、7合目で休憩し水分を補給する。この先から岩の登山道を登るようになり、7合目半からは傾斜がきつくなる。

この先から岩の登山道を登るようになり、7合目半からは傾斜がきつくなる。

しばらく広い登山道を進み、7合目で休憩し水分を補給する。この先から岩の登山道を登るようになり、7合目半からは傾斜がきつくなる。

この先から岩の登山道を登るようになり、7合目半からは傾斜がきつくなる。

しばらく広い登山道を進み、7合目で休憩し水分を補給する。この先から岩の登山道を登るようになり、7合目半からは傾斜がきつくなる。

この先から岩の登山道を登るようになり、7合目半からは傾斜がきつくなる。

しばらく広い登山道を進み、7合目で休憩し水分を補給する。この先から岩の登山道を登るようになり、7合目半からは傾斜がきつくなる。



森林限界を抜けると、石室や金剛童子像のある8合目に着き休憩を取る。真っ青な空に聳える御嶽



山を見ながら、ナシやゼリーをいただき水分を補給する。ここからも急登が続き、溶岩の中に付けられた登山道を登って高度を上げて行く。F島さんのペースが少し遅れて来たが、後ろの3人はおしゃべりしながら余裕で登っている。陽射しを遮るものが無く暑さに耐えながら、王滝頂上を見上げて急登を頑張ると9合目に着く。さらに岩塊の登山道を登って行くと、標高2900mの王滝頂上に着く。ここには王滝頂上山荘が建ち、その脇には石垣で囲まれた

王滝頂上神社が祀られている。山荘前のベンチでは大勢の登山者が休憩しており、我々もベンチに腰掛けてナシや菓子をいただきエネルギーを補給する。疲れた足を休めたら、王滝頂上神社の脇を通過して剣ヶ峰へ向かう。王滝頂上神社を抜けると平坦で広々とした八丁タルミの砂礫道を進み、左手に地獄谷の噴煙を見ながら剣ヶ峰を目指す。青銅の仏像などが立ち並び、御嶽信仰の香りを強く感じる場所である。平坦な道から岩塊の急坂を登り、その先に長い石段が続いている。他の登山者が「SNSで地獄の階段と書かれていた」と言っていたが、まさに地獄の階段であった。ここを乗り越えると、御嶽神社奥宮がある剣ヶ峰に着く。一等三角点が置かれた山頂からは360度の大きなパノラマが広がり眼下に一ノ池、二ノ池が、摩利支天山や継子岳の向こうには乗鞍岳や北アルプスが望める。3067mの頂から望む大展望に、皆さん大満足でスマホに収めていた。山頂



標識の前で記念写真を撮り、御嶽神社奥宮を参拝すると「10年前噴火した場所は何処ですか？」と聞かれ、反対側に移動して教えてあげる。展望を楽しんだら下山開始し、王滝頂上まで戻ってランチタイムとする。頂上山荘前のベンチに腰掛け、景色を楽しみながら各自持ち寄ったランチをいただく。ランチを食べたらトイレを済ませ、往路を戻って下山開始する。下山は快調に下り、無事に田ノ原の登山口に着く。トイレを済ませたら駐車場へ移動し、靴を履き



替えたら車に乗って帰路に着く。往路を戻り、道の駅「奈良井木曾の大橋」に寄ってお買い物。その後塩尻市内で渋滞したが、高速道は順調に走り予定より早く岩舟支所に帰着した。